

- 前章の調査で明らかなように、保土ケ谷区には、様々な時代と種類の地域遺産が全区に分布しており、それらを活かし、保土ケ谷ならではの住環境を創造していく必要がある。
- 旧東海道地域と比べると、ベースとなる地域活動があまり行われていないところもあるため、「きっかけづくり」を全区的に展開する。
- 地域活動の熟成度が高まってきたところにおいては、連絡会議や協議会といった組織を立ち上げ、まちづくりを進める。

#### ■区民による地域遺産情報の発信と魅力づくり

##### 現況・課題

- 現在、石仏・石塔の調査をはじめとして、「地域遺産」に関する情報の蓄積はなされているが、区民に対するそれらの情報の発信は行われていない。
- 「ほどがや協働まちづくり工房」のプロジェクトから誕生した「区民レポーター」が、区の広報やホームページに区民ならではの視点によるレポートを連載している。

##### 方向性

- 区民による紙媒体やWEBでの地域遺産情報の発信を行う。
- 「地域遺産情報の発掘・蓄積・発信」という作業を、地域の魅力づくりへの区民参加のきっかけとしていく。

#### 参考事例 ～神奈川区 “魅力アップ隊” の活動

神奈川区では、平成17年度に、区内の魅力ポイントを集めた「わが町 かながわ 50選」の選定を行い、散歩道ガイドを発行した。平成18年度は、選定された「わが町 かながわ 50選」やその周辺の地域、更には神奈川区全体をより魅力的にする、ということを目的として、「魅力アップ隊」を区民から募集し、区内を5つのエリアに分けて、以下のような活動を行っている。

##### ●「かわらばん」の発行による地域情報の収集・蓄積・発信

「魅力アップ隊」では、まちあるきや取材等で、地域の魅力資源や魅力づくり活動などの情報を収集・蓄積し、それらの情報を「かわらばん」として発信している。「かわらばん」の発行にあたっては、隊員自ら、取材先の決定・手配や記事の編集を行っている。印刷は現在区で行っているが、将来的には魅力アップ隊の隊員で印刷まで行えるような体制づくりを目指している。



##### ●魅力づくり企画

まちあるきやかわらばんの取材等を通して地域の魅力や特色、課題等を把握し、地域の魅力を向上させるプロジェクトを推進している。



##### ●魅力アップ隊全体会による地域間の情報交換

魅力アップ隊では、定期的に全グループのメンバーが集まり、それぞれの活動情報等を発表しあい、活動情報を交換している。

写真  
上：「かわらばん」  
下：魅力づくり企画イメージ図

#### 【魅力アップ隊の効果】

##### ●魅力づくりのきっかけづくり

既に様々な分野で活動している区民や、活動に対して意欲はあるが、参加したことはなかった区民が集まり、豊富な知識と新たな視点が集結し、魅力づくりを行っていききっかけとなったこと。

##### ●埋もれていた地域情報の顕在化

「かわらばん」の取材と発行により、これまで、あまり知られていなかった地域情報が発信され、蓄積されてきている。

#### ■地域遺産情報の管理体制づくり

##### 現況・課題

- 行政のみでは、地域情報の蓄積と、それらの有効活用を図っていくことが難しい。
- 現在、区民による地域情報のストックは、興味を持っている個人が行っているため、どの情報がどこに存在するのか、ということ把握することが難しい。
- 区制80周年を記念して、保土ケ谷まちづくり工房が「ほどがや80KEI」を定めようとしている。「ほどがや80KEI」は、地域の魅力情報のひとつとなりうる。

##### 方向性

- 市民活動センター「アワーズ」などに、「まちづくり情報コーナー」を設置し、地域情報や、関連する計画の報告書などを、だれでも閲覧できるようにする。
- 協議会やほどがやガイドボランティアの会、保土ケ谷宿四00倶楽部のメンバーや、各地域からの代表などのメンバーにより、地域遺産情報の更新を行う組織をつくる。



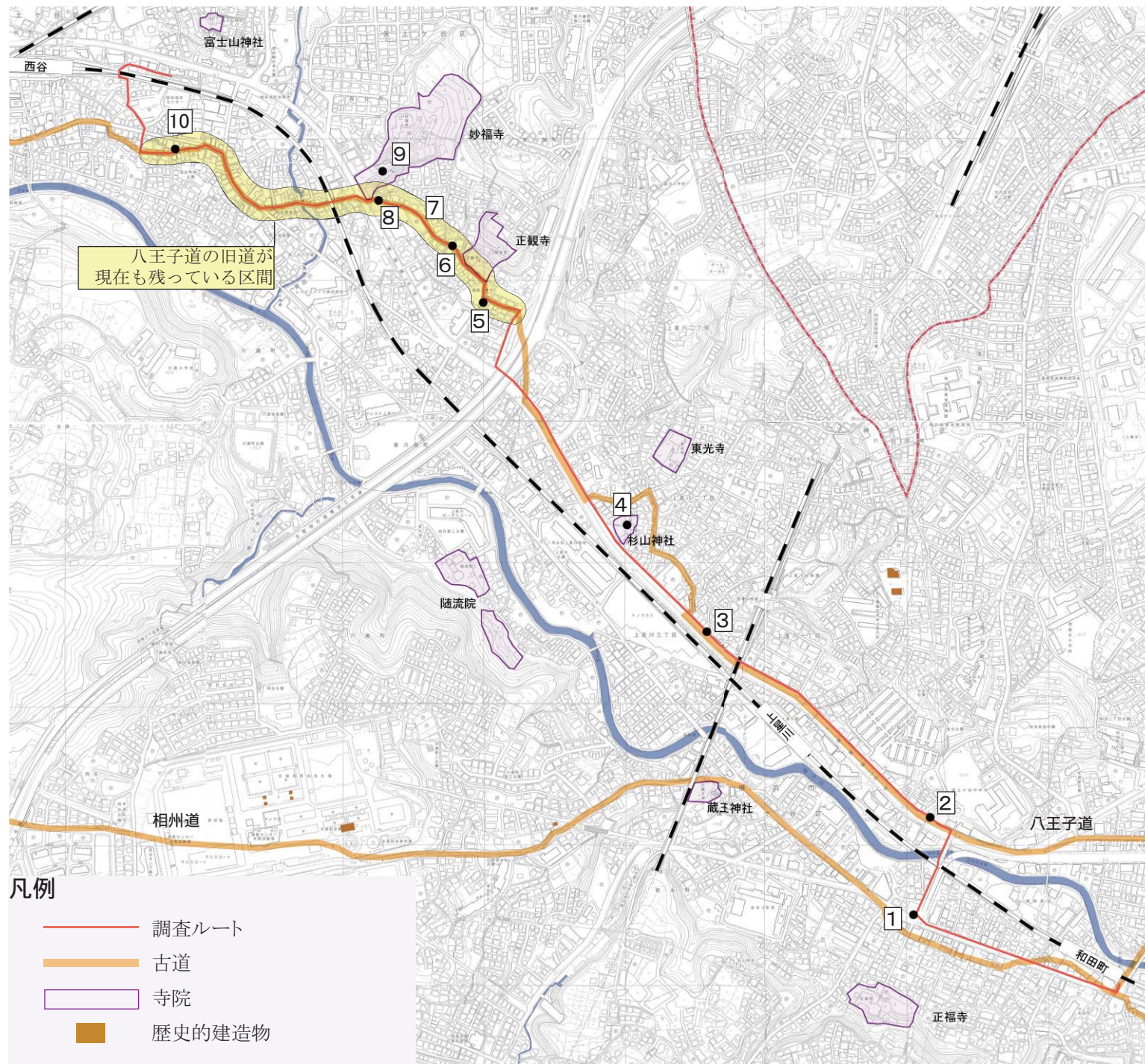
### 3. 地域遺産を活かした魅力づくりのケーススタディ

#### 1. 和田町～西谷の地域遺産の現況調査

地域遺産の現地調査のモデル地区として、和田町から西谷までの地域遺産調査を行った。(調査日：2月4日)

#### 和田町～西谷エリアの概要

- ・帷子川や国道16号に並行して八王子道が通っており、石仏・石塔や寺社等が多く存在する。
- ・帷子川の右岸には相州道が通っている。相州道は、厚木街道、あるいは神奈川道とも呼ばれている。
- ・このエリアの八王子道は、昔の道筋が残っている部分が多い。今後、昔ながらの道筋を活かした散歩道整備など、地域の魅力資源を顕在化する取組みを行っていくことが望まれる。



1 杉山神社の跡地の庚申塔・三山供養塔・地神塔。相州道の交差点の角地に立っている。



1 三塔の背後は、ふれあい広場になっているが、周囲は金網で囲われており、魅力的ではない。



2 歩道橋の下の空間にある和田村道橋改修碑。金網に囲われている。



2 金網の内側は住民によって花が植えられるなど、手入れが行われている。



3 「上星川の石仏」と呼ばれている。道祖神、庚申塔等が三基ある。



3 「上星川の石仏」は道路沿いの空き地に存在し、近隣の住民によって駐車場として利用されている。



4 杉山神社。高台にあり、周辺の住宅の階数も低いため、広々とした空間が広がっている。



4 杉山神社の石盥手水盤。天保13年(1842年)の歴史のあるもの。



5 八王子道、鎌倉道、神奈川道を示す、庚申塔の道標。基壇部が破壊されており、仮に復旧してある。



5 民家の塀の外側にあり、車などがぶつかる危険性がある。隣接する町内会館の敷地内への移設も検討すべき。



6 八王子道と神奈川道を示す、地神塔の道標。駐車場の一角に設置されている。



7 八王子道の道筋が現在も残っており、細い外路が続いている。



7 道が狭いため、車の通行も少なく、落ち着いた散歩コースとなっている。



7 歩いていると、昔からのわずかな起伏の地形が残っていることが感じられる。



8 妙福寺の境内の八王子道沿いにある庚申塔。



9 妙福寺の題目塔。



9 妙福寺境内の檀家用のお休み処。トイレ、ベンチ、自動販売機、井戸等が設置されている。



9 妙福寺境内の馬頭観音等。



10 「西谷の石仏・石塔」と呼ばれている庚申塔、地神塔等4基。周囲はきれいに維持管理されている。



10 西谷の石仏・石塔の前の道も、八王子道の道筋を残しており、落ち着いた散歩道空間となっている。



#### 2. 和田町～西谷の地域遺産を活かした魅力づくりの方向性（ケーススタディ）

- 八王子道の通っている地域は主に住宅地である。
- 八王子道という地域遺産を活かし、日常生活の動線の中心としてのみちの魅力を向上させ、散策ルートとしても魅力的にする。

##### ○ 地域遺産の保全・修復と周辺の魅力づくり

- 修復が必要な地域遺産も多い。
- 地域遺産の保全・修復とあわせ周辺の緑化などによる魅力づくりを行う。



##### ● 旧道の趣を活かした潤いのあるみちづくり

- 地域遺産を結ぶルート上にお休みどころを設けるなどして、散策ルートや歩行者の生活動線の主軸として整備する。
- 歴史的な道筋であることを活かした商店街のまちなみ創出



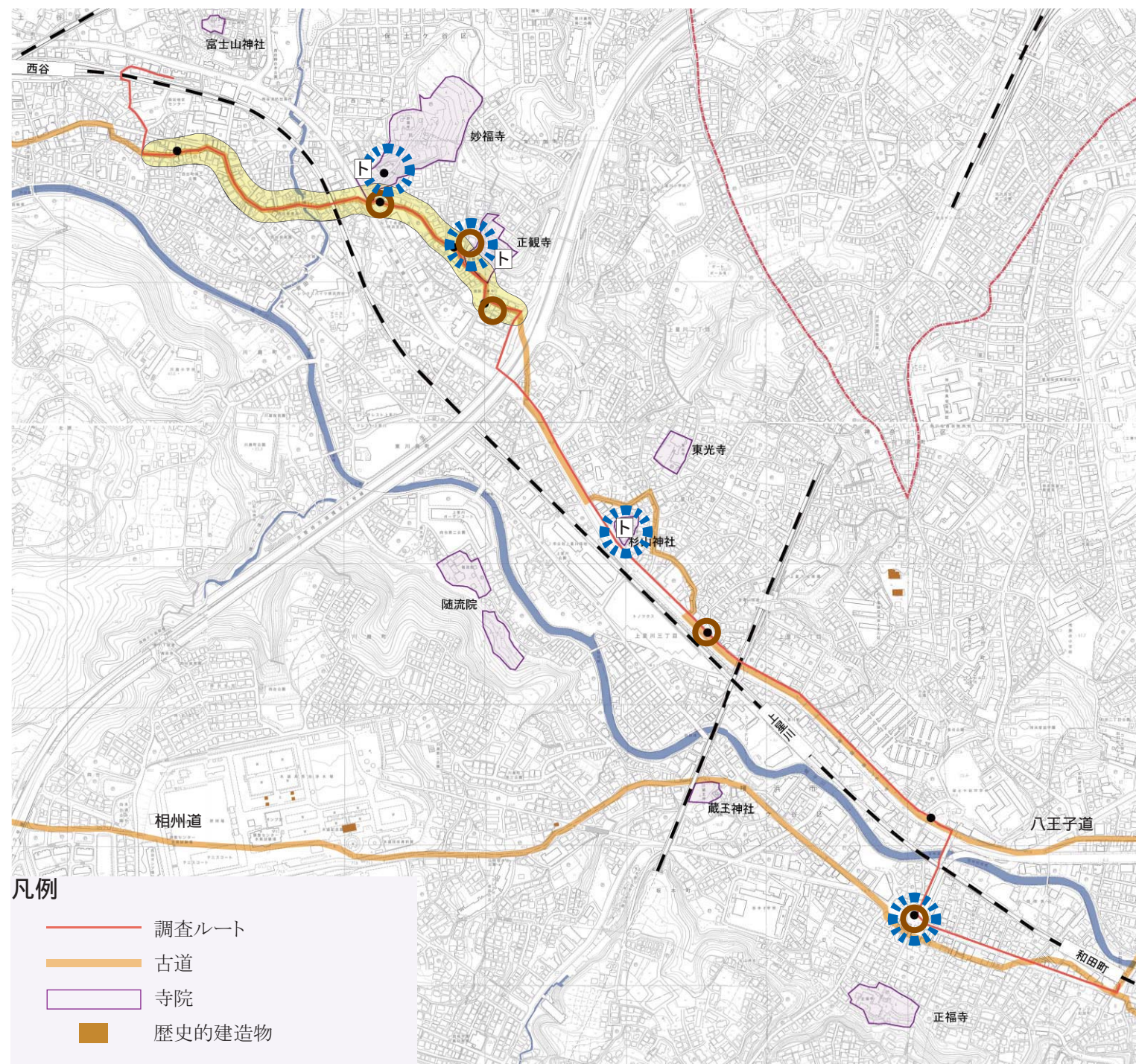
のれんを使った店先の趣づくり

- 緑化協定や助成事業の活用による沿道の緑化



(財)横浜市緑の協会 HP より

- ・緑の協会による生垣設置の助成事業等を活用しながら、潤いのある住宅地の街路空間を創出する。
- ・将来的には、沿道の住宅地で景観協定等のルールを結び、魅力的な住宅地街路を創出していくように、沿道の住民へ働きかける。



##### 【全域】八王子道をたどるルートのサインの設置

- 魅力ポイントの解説板と誘導サインを設置する。



##### ☀ コミュニティの拠点ともなるお休み処の整備

##### ト 寺社への区民トイレや区民ベンチを設置

- 区民トイレ制度、区民ベンチ制度をつくり、寺院などに、お休み処を設置してもらえるように働きかける。



[参考写真] …妙福寺

- ・西谷町の妙福寺では、ベンチや檀家向けのトイレ、井戸、自動販売機などを設置している。



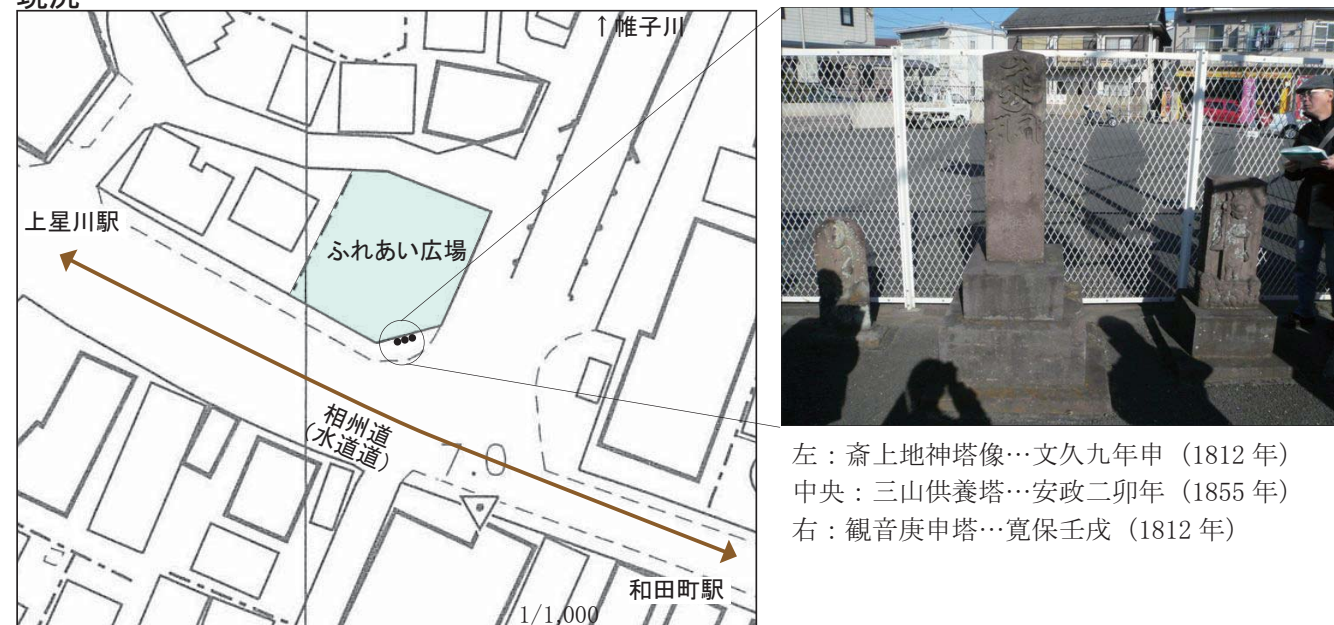
#### 3. 魅力づくりプロジェクトイメージ

##### 3.1 貴重な「地域遺産」の保全と魅力づくり

- 保土ケ谷区には、旧東海道地域以外にも多くの地域の魅力資源が眠っている。
- これらを、保土ケ谷の各エリアの「地域遺産」としてとらえ、保土ケ谷区と区民、関連するNPOとの協働により保全を図ると共に、それらの地域遺産とその周辺を、地域のコミュニティ活動の拠点となるように、魅力を向上させていく。
- 「地域遺産」解説板等を設置する。

#### 杉山社跡地の三塔（現地調査ポイント1）の整備イメージ

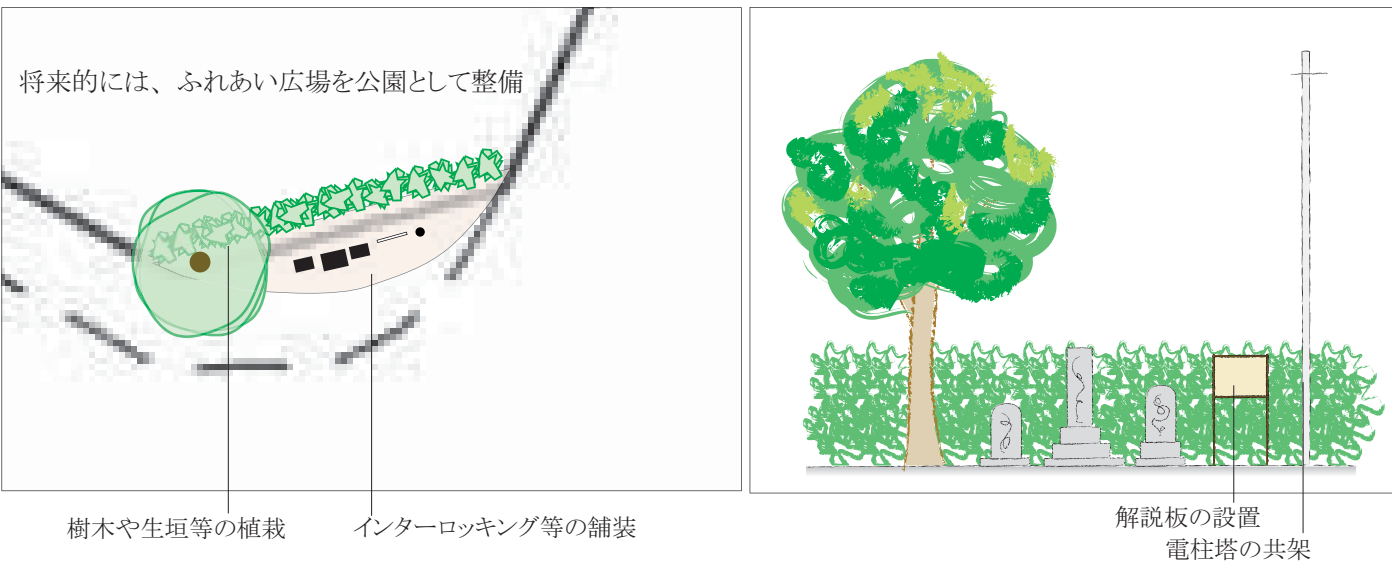
##### 現況



左：斎上地神塔像…文久九年申（1812年）  
中央：三山供養塔…安政二卯年（1855年）  
右：観音庚申塔…寛保壬戌（1812年）

- ・ 杉山社移転後も、杉山神社にあった三塔は移転しなかった。
- ・ 杉山社跡地は地元の町内会が管理する「ふれあい広場」となっている。
- ・ ふれあい広場の周囲は金網が設置されており、広場内部は前面アスファルト舗装となっている。

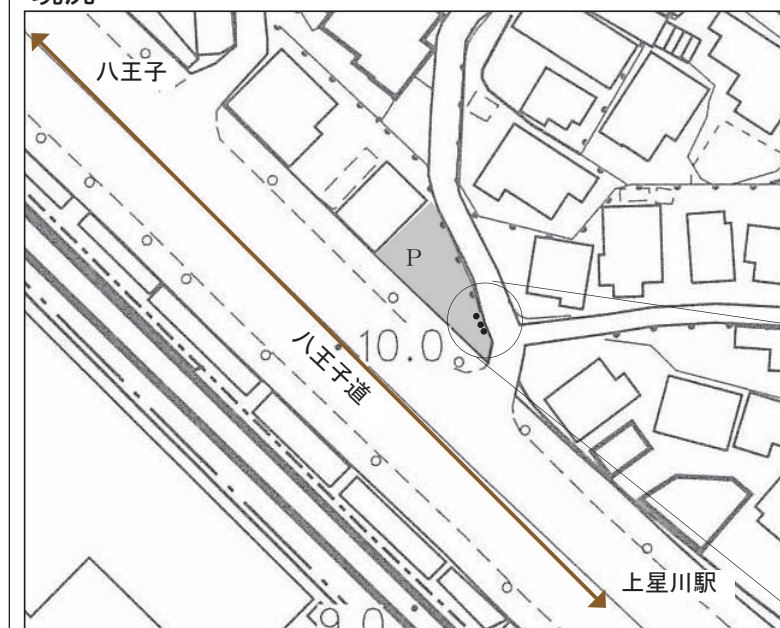
##### 整備イメージ



- ・ 金網部分に生垣を設けることで、周辺の魅力向上を図る。
- ・ 周囲に複数ある電柱等を一本にまとめて共架にする。
- ・ 三塔の周囲の舗装をカラー舗装化するなど、三塔周辺が周囲から引き立つようにする。
- ・ 三塔の解説板を設置する。
- ・ ふれあい広場を将来的には公園として整備し、イベントに使うなど地域のコミュニティの中心となるスペースとする。

#### 上星川の石仏（現地調査ポイント3）の整備イメージ

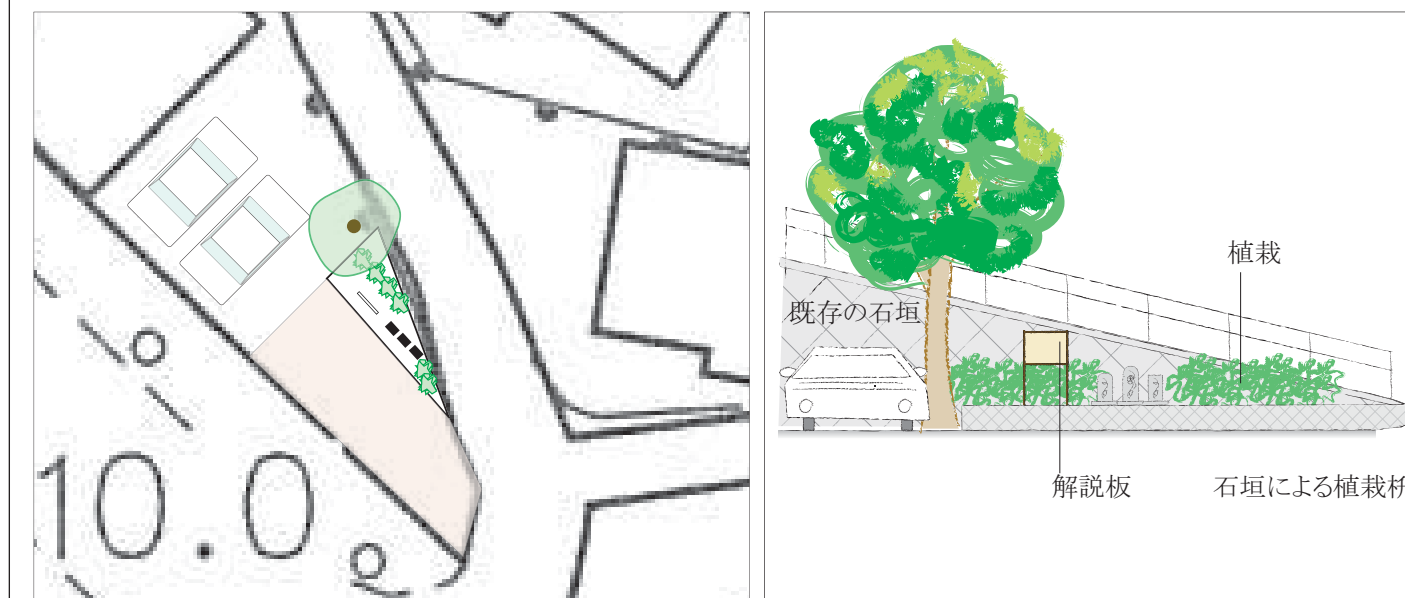
##### 現況



左：双体道祖神…明和二乙酉（1765年）  
中央：青面金剛庚申塔…天徳四天（1714年）  
右：地神塔…寛政三亥（1791年）

- ・ 現在は、三塔の設置されている場所は、駐車場として利用されている。

##### 整備イメージ



- ・ 植栽背景となる既存の石垣と調和した、石垣による植栽枡を設置する。
- ・ 解説板を設置する。
- ・ 石垣の前には、車を停めないように地権者にお願いをする。